

地域	神奈川県座間市	認定日	平成19年7月19日	3 - 19 - 094
事業分類	製造(電気・情報機器)	テーマ分類	防災・防犯	

## 事業名: 業務委託用USBメモリの情報漏洩防止システムの事業化

### 事業概要(新規性、市場性等)

・企業内の機密情報の外部流出防止を目的に開発した情報漏洩防止対策製品(4thEye)のコア技術「ドライバウェア」を業務委託先向けにも開発。業務委託先に渡すUSBメモリに情報漏洩防止の仕掛けを施した専用アダプタを連結させることで、業務委託先からの情報漏洩を防止する画期的なシステムの開発に成功した。業務委託先からのWinnyなどのファイル交換ソフトによる情報漏洩をも防止できるシステムである。この専用USBメモリの特徴は以下の3つ。

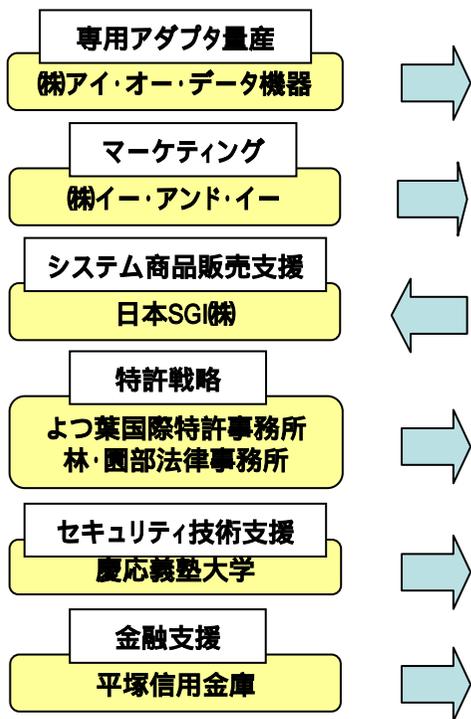
専用アダプタを装着したUSBメモリ内でのみ作業可能で、業務委託先での持ち出し不可。

内蔵ハードディスクへもコピーができない。

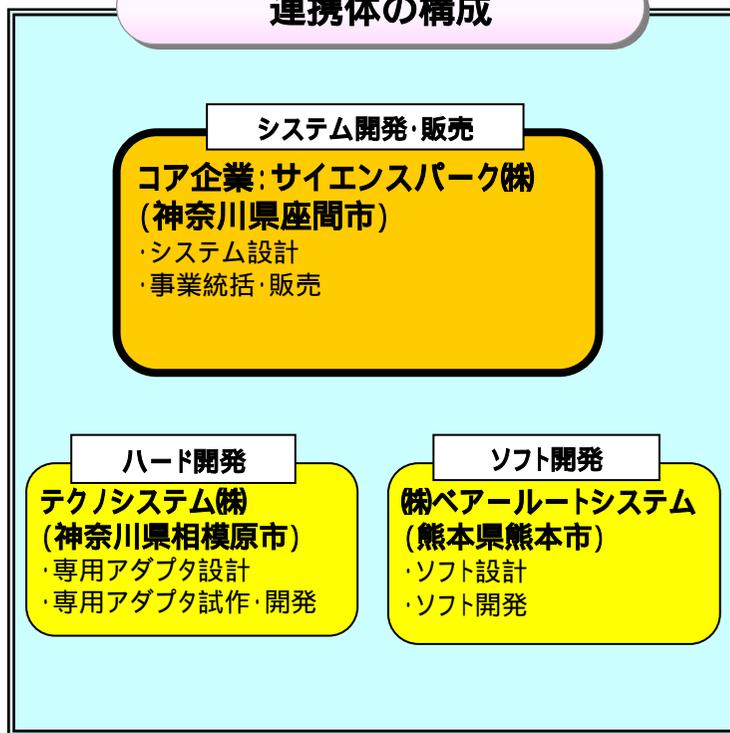
委託先の操作ログを保管し、電子ファイル返却後に委託元でのチェックが可能。

期限付きで電子ファイルを自動的に暗号化。ファイルの自動消滅の機能を持つ。

### 事業推進体制



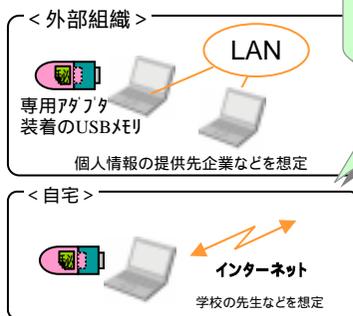
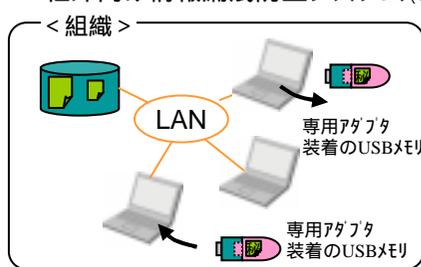
### 連携体の構成



### 支援予定メニュー

#### 補助金

#### 社外向け情報漏洩防止システム(運用の流れ)



- (1)コピーさせない(NonCopy)
- (2)ファイル取り扱いの履歴の記録
- (3)期限付きの自動消滅電子ファイル

## 連携のきっかけ、特徴

コア企業のサイエンスパーク(株)は周辺機器(デバイス)を駆動(ドライブ)するためのソフトウェアであり、OSとハードウェアを結ぶソフトである「デバイスドライバ」の開発分野ではトップメーカーとしての地位を確立している。

2001年には、ドライバ開発で培った技術をベースとした独自のソフトウェアプラットフォーム「Driverware(ドライバウェア)」を発表、その製品化第一段として2003年に情報漏洩監視システム「4thEye(フォース・アイ)」をリリースするなど、独自商品の開発・販売を手掛けている。

本開発の新しい情報セキュリティシステムは、サイエンスパーク(株)の自社だけではカバーしきれないため、高度なハードウェア技術を持つテクノシステム(株)、及び応用ソフト技術の蓄積を持つ(株)ベアールシステムと連携体を組んで開発に取り組んでいる。この連携参加者の2社は従来から取引関係が有り、お互いの技術力を十分に理解しており、高い信頼関係が構築されている。

## コア企業の会社概要

企業名・代表者	サイエンスパーク株式会社 代表取締役 小路幸市郎	
所在地	神奈川県座間市入谷1-1538-11	
創業	平成6年5月	
資本金・従業員数	4,000万円	25名
業種	ソフトウェア開発、電子機器製造業	
T E L	046-255-2544	
F A X	046-255-0319	
ホームページ	<a href="http://www.sciencepark.co.jp">http://www.sciencepark.co.jp</a>	
e-mail	mktg@sciencepark.co.jp	

## PR等その他の情報

サイエンスパークの独自コア技術「ドライバウェア」およびデバイスドライバ開発に関する受賞歴  
2003年 米国空軍科学研究所より特別賞を受賞  
2005年 神奈川県工業技術大賞奨励賞を受賞  
2006年 マイクロソフト社よりDDK - MVPを開発責任者が受賞